



# 広報みまた

(町制30周年記念特集号)



53 / 11月号

# 記念行事盛会に終る。

## 町制施行三十周年

十一月三日から五日までの三日間行われた町制施行三十周年記念行事は近年になく多数の参加で、各会場とも盛会にしかも有意義のうちに終ることが出来ました。

このことは町民こそって町制の発展を祝って戴いた賜であり町民

の皆さんの御理解と御協力に感謝いたします。

本町も三十周年を迎え、これを一つの節として伝統ある郷土三股をより明るく豊かな住みよい町にする為に更に一層の創意と工夫によって町民相互の協調を図り連帯の輪を広めたいものです。



▲式辞を述べる町長



▲式典風景



▲受賞者代表の謝辞



▲文化賞の授与

### 30周年記念



▲式典に花をそえた商業高校の吹奏楽

記念式典では今日の三股の基礎を築いて戴いた先人の霊に対し町長、議長、それに町制を施いた昭和23年に生まれた方々を代表して榎田誠君と東京子さんがそれぞれ献花を捧げ英福を祈りました。



▲30才を代表して献花を捧げる東さん

### 記念式典表彰者

- |             |  |                            |
|-------------|--|----------------------------|
| <b>文化賞</b>  | 森 秋吉 (多年にわたり社会福祉に貢献)   | 早田 三正 (先祖代々にわたる伝統的和紙製造に専念) |
| <b>長寿者</b>  | 原田 イセ (104才)   | 山下 ケイ (100才)               |
| <b>行政部門</b> | 中野 義武 佐澤 利乾 福永 綱盛 木田 三郎<br>西田 實儀 逢原 正行 野瀬 良平 桑畑 雅博<br>中村 修一 児玉 重行                                  |                            |
| <b>社会部門</b> | 三股町母子福祉会<br>三股町遺族会長田婦人部<br>餅原老人クラブ<br>三股理容組合   |                            |
|             | 石坂 綱雄 比江嶋一夫 竹ノ内良夫 小林 直則<br>野崎 英一 松山 重次 谷山ミカル 野崎 榛<br>今井 正義 飛松 キノ 和田三四郎 川上 親雄<br>馬渡 三男 河野トシコ 今村テル子  |                            |
| <b>教育部門</b> | 勝岡小学校こども銀行<br>藤木 幸利 桑畑 則雄 長倉 泰郎 大坪 貞志<br>別府 光次 野崎 頼 大脇 幸子 清水 守<br>森 ミヨ子 小牧 兼久 久松 静雄 指宿 英吾<br>立山 三保 |                            |
| <b>産業部門</b> | 宮村酪農研究会<br>前目集団営農組合<br>三股町SAP会議<br>原田 國儀 鶴 平熊 大村 清水 馬渡富三男  |                            |



▲文化賞受賞の早田・森の両氏



▲100才の山下さんと104才の原田さん

# 秋晴れのもと はつらつと 町民体育大会

さわやかな秋晴れのもと旭ヶ丘運動公園において開催された町民体育大会は子供から老人まで文字通り町民総参加のもとに盛大に行われ、競技の結果成績は次のとおりでした。

- 優勝 第4地区
- 準優勝 第1地区
- 第3位 第6地区



三十周年記念行事

文化産業祭なども盛況

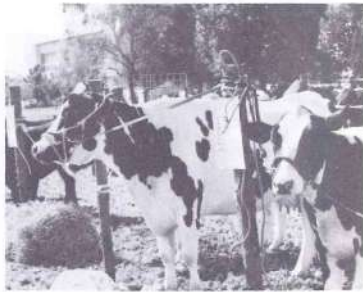
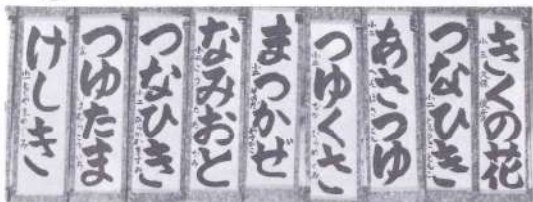
生花展



書道展



青年祭



優良家畜の展示会



4半の大会



商工会による展示即売会

助役に 豊丸武春氏

九月以来空席になっていた本町の助役の選任について町長は十一月十一日の臨時議会上程し、議会の選任同意の議決を受けました。新助役に選任されたのは前町民相談室長の豊丸武春氏(56才)で十一月十三日付で任命され、同日付で就任しました。



豊丸助役は昭和三十三年に役場入り環境保険、商工観光、土木、人事企画の各課長を歴任され、その間町政の枢機に参画し、すぐれた識見と熱誠とをもって町政の推進に努力された方であり、豊丸氏は常に温厚にして明朗で円熟した人格は町民等しく認める所でもあります。又柔道五段の技の持主でもありスポーツマン共通のスカッとした人柄に接する人全て親し

みを感じているところで。今河氏が助役に選任されたのは行政に対する秀れた見識と実行力更には誠実さを高く評価されたもの

みんなそろって明るい正月を!

十二月は一年の締めくくりの月であり、ふだん落ち着いている先生も走り出す(師走)というほど忙しく、あわただしい月でもあります。その上、毎年十二月は、犯罪や交通事故、火災や盗難などが、ふだんの月より増える傾向にあります。私達の周囲から犯罪や事故を無くし、恵まれない人には愛の手を差し伸べ、みんながそろって明るい正月を迎えたいものです。

一、恵まれない方に善意を!

歳末たすけあい運動 (みんながそろって明るいお正月を)をスロウガンで行われるもので共同募金運動の一環として十二月に限って行われるものです。恵まれない方に善意の募金を通じてお互いに助け合い、みんなそろって明るいお正月を迎えられるよう、みなさんのご協力をお願いします。

二、初期消火と安全避難

年末から年始にかけて例年空気が乾燥し、強い北風の吹く日が多

であり、今後氏に。る期待は大きいがあります。今までたずさわった数々の体験を生かし町政発展のために尽力していただくことを大いに期待したいものです。

者も、気分的に何かとあわただしくなります。一方で交通渋滞がひんぱんに起きるようになります。気ぜわしさとイライラが高まり、ともすればスピードの出が過ぎ、無理な追い越しなどの違反運転が目立つようになります。なかでも、この時期にふえるのが、飲酒運転による重大事故です。酒を飲む機会が多くなる年末年始、車を運転する時は絶対に酒は飲まない様

四、泥棒は心のスキから

第三地区で防犯協議会 十二月は、ボーナスのシーズンでもあり、なにかと大金が動き、家計簿の上でも、お金の出入れがしきりになります。一方では、ひたたくりや空き巣が横行し、給料をハンドバッグごと奪われたり、ちょっとした留守に金品を持ち去られたりといった被害が増えるのも十二月です。施設とともに、心の戸締まりをお忘れな

新規採用職員に辞令 本町では先に職員補充試験を実施しましたが、この程新規採用の補充職員四名が決定し去る十一月一日に辞令が交付され同日付をもって職員に任用されました。四名の新規採用された職員は共に厳しい選考を突破しただけあってよるこびも一しおであり一生の仕事として運んだ地方公務員としての誇りと自負を胸にひめ職務に對する熱意の程がうかがえまし



辞令の交付を受ける新採用職員

町長からの辞令を手に地方公務員として服務に對する宣誓も力強く頼もしいものがありました。 新規採用職員は次のとおりです。 人事企画課付岩松健一(税務課) 二宮利博(税務課) 渡辺知昌(福祉生活課) 永井由美子(福祉生活課)

三、飲酒運転は絶対やめよう 十二月は一年のうちで最も交通事故の多い月です。 特に年末は、ドライバードも歩行



第3地区防犯協議会

五、悪質サラ金業者に注意

夫の蒸発、離婚、一家心中など、サラリーマン金融をめぐる悲劇があとを絶ちません。五万、十萬の小口のお金が簡単な手続きで借りられるため、々悲劇の主人公のほとんどは、利息や返済条件も確かめないで気軽に、ギャンブルやレジャー資金にあてるケースが多いのです。返すあてのない一時しのぎの借金ほど、あとが苦しくなります。悪質な手口にかかると、とり返しつかない悲劇があなたを見舞うのです。くれぐれも注意を。

六、「一一〇番」通報は落ち着いて順序よく

「一一〇番」への通報は、次のような順序でお願いします。

- ①何があったか  
(交通事故、ひき逃げ、泥棒など)
  - ②いつあったか  
(たった今、何分前)
  - ③どこであったか  
(わかりやすい目標物)
  - ④どんな状況か
  - ⑤犯人の相や特徴、車のナンバー、型、色、逃走方向など
  - ⑥あなたの住所、氏名、電話番号
- 以上のように話すと、警察官にもわかりやすく、犯人の検挙率も高くなります。

家庭の医療

鼻やノドの粘膜乾燥

暖房時は加湿を忘れず

寒くなりました。お宅の暖房はいかがですか。

われわれが快適だと感ずる温度条件は、季節、年齢、性別、衣服によつて、それぞれ異なります。したがつて、だれもが快適と感ずる温度は一定しないわけです。

しかし、一般的にいえば気温が摂氏十三度以下になると、われわれのからだは、じっとして手足などを動かさなければ、しだいに冷えてきます。

皮膚血流量の研究の結果からいへば、摂氏十六度以下になると、暖房が必要ということになります。また、暖房すると湿度は低くなり、空気が乾燥し、鼻やノドの粘膜も乾き細菌感染が起こりやすくなります。このために湯気を立てるなど加湿が必要です。

こういった条件などからみると、普通に生活している状態の場合、シーズンに合った衣服を着て、気温が摂氏十七〜二十五度、湿度四〇〜七〇%、風速が秒速五十センチ以下というときに、「快適」と感ずる人の割合がいちばん多いようです。

**12月の納税**

**保険税4期**

愛の「寄付」

ますので、上下の空気の対流をよくして室内を平均した温度にすることが大切です。

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたします。と共に社会福祉進展のために有意義に利用させていただきます。

昭和五十三年九月二十八日から  
昭和五十三年十一月十三日まで

寄付者	故人名	地区	金額
田嶋ミル	田嶋 繁	大サ	五万円
小倉 章	小倉ミヨ	下新	五万円
中原兼雄	中原ノエ	上米	二万円
岩崎実春	岩崎ミキ	下新	三万円
黒坂実行	黒坂マツエ	勝岡	二万円
柳橋安美	森 チル	東原	一万円
大坪 功	堂領源次	植木	一万円
川原利和	川原ヨシノ	中米	二万円
木下スミエ	木下藤助	中米	二万円
隈元 一子	隈元タケ子	植木	二万円
本村正夫	本村カヲル	植木	一万五千元

一般寄付

若柳流師範若柳左登詩さんより、若左会三股支部発足記念チャリティショー「秋のおどり」の益金を、社会福祉に役立ててほしいと、一金七万円を町社協に寄附されました。

東原老人クラブが雑布東原老人クラブ(会長逢原正行)は善意事業の一環として、このほど社会福祉協議会に、雑布55枚を寄附されました。

社会福祉協議会では有意義に活用させていただきますと共に善意に感謝いたします。

橋口虎斗男	橋口ユキ	前目	二万円
瀬尾六夫	瀬尾サカエ	寺柱	二万円
福留則孝	福留スミエ	前目	一万円
松山安郎	松山秀安	掘山	
轟木三郎	轟木利雄	轟木	一万五〇〇円
大重則安	富島マサ子	上米	三万円
			一万円

三股町の人口

昭和53年11月1日現在

人口	16,915人	出生	14人
		死亡	8人
		自然増	6人
男	7,986人	社会増	30人
女	8,929人		
		+	36人
世帯数	5,130戸		